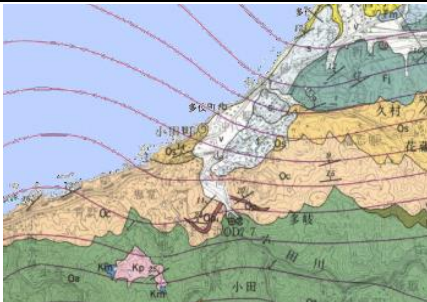


地質サイトカード

カードNo.		C-⑥-2	通しNo.	44	作成日	2024/7/19	
サイト名		おだ 小田海岸の貝化石					
基本情報	エリア	南部丘陵地 探訪サイト					
	区分	☒ 地質・地形	☐ 生態	☐ 文化			
	利用価値	☒ 科学	☒ 教育	☐ 観光・ツアー			
	所在地	出雲市多伎町小田					
	アクセス	山陰道 出雲ICから約12km、約15分。信号機小田東港入口を東に降りたところ。					
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☒ 観光施設(道の駅キララ多伎、多伎海水浴場)					
	看板整備						
	留意点						
保護・保全	法規制・関連団体等						
	保全メモ						
サイトの解説	みどころ	海岸の礫の中に、保存の良い貝化石を発見することができる。					
	地質・地形	小田海岸には、様々な色を呈する流紋岩や安山岩などの円礫に混ざって、周囲に分布する今から1300万年前前後の布志名層からもたらされた泥岩や砂岩の円礫が打ち上げられている。これらの円礫は大部分が石灰質成分の多い石灰質ノジュールである。この中からは、シオバラザルガイ、ハタイカガミ、フジナウバトリガイ、ヨコヤマビノスガイなどの保存の良い貝化石やフナクイムシの巣穴化石が密集して産出する。これらの貝化石はやや冷たい温帯性の浅海域に棲息していたと考えられており、布志名動物群と呼ばれ、当時の代表的な軟体動物化石群で古生物学上大変貴重である。貝化石の他にもクジラの骨化石、メジロザメの歯化石、アシカの仲間の骨化石などが稀に産出する。また、周囲に分布する海食崖には布志名層あるいは下位の大森層の砂質シルト岩～砂岩が露出し、この中にも保存不良ではあるが、ハタイカガミなどの二枚貝化石が含まれている。					
	歴史・文化 生物・生態 等						
写真・図等							
参考文献		島根地質目録、Takayasu, K. (1982) On some molluscan fossils from the vicinity Lake Jinzai, Izumo district. - Molluscan fossils from various localities in Shimane Prefecture, part 3-. Mem. Fac. Sci., Shimane Univ., 16, 91-107.					